

第941回

定例教育委員会会議録
(公開)

日 時 令和7年4月28日(月) 15:30～

場 所 保健センター 大ホール

益田市教育委員会

第941回 教育委員会定例会

招集年月日 令和7年4月28日（月） 15：30～

招集場所 保健センター 大ホール

議事日程

第1 会議録の承認について

第2 教育長報告

第3 議題

議第12号 益田市教育委員会障がい者活躍推進計画（第3期）の策定について

議第13号 「益田市教育ビジョン」の見直しについて

議第14号 益田市教育支援委員会の委員の任命について

議第15号 史跡益田氏城館遺跡群整備検討委員会委員の委嘱について

報第13号 「春休み！算数・数学パワーアップ教室」について

第4 その他

（1）情報提供

（2）その他

出席者

教育委員会

教 育 長	領 家 芳 明
教 育 委 員	齋 藤 哲 瑯
教 育 委 員	原 田 笑
教 育 委 員	山 本 ひとみ
教 育 委 員	森 脇 達 也

事務局職員

教 育 部 長	藤 本 美 香
教 育 総 務 課 長	齋 藤 勝 義
学 校 教 育 課 長	田 原 正 紀
学 校 教 育 課 参 事	杉 原 貴 宏
ひとづくり推進課長	岡 崎 健 次
文 化 振 興 課 長	田 中 一 史
美 都 分 室 長	澄 川 武 寿
教 育 総 務 課 長 補 佐	植 田 拓 也
教 育 総 務 課 主 任 主 事	木 東 地 志 緒 里

領家教育長 定刻となりましたので、ただいまから令和7年度第941回益田市教育委員会定例会を開催いたします。

では、会議に入ります前に、4月より人事異動で事務局員の変更がありましたので、紹介したいと思います。

この場にはいない者も含めてですが、新たに教育委員会に来られた4名、藤本教育部長、加田教育総務課参事、小林匹見分室長、木東地主任主事、この4名がこの教育委員会の定例会を開催するメンバーでございます。本日、この順番で挨拶をいただきたいと思っております。それでは、藤本部長よろしく申し上げます。

藤本部長 先ほどご紹介にあずかりましたこの4月1日付人事異動で参りました藤本と申します。平成27年度から平成30年度まで教育委員会におりまして、主には給食のことを3年間、それから1年は教育総務課の補佐という立場で勤務をさせていただいておりました。4月1日からここに来て、新任の部長でもありますし、6年の月日というのはすごく長いものでいろいろとさま変わりしているところもあって、今現状を把握するところを皆さんのお話を聞きながら努めているところでございます。なかなか一遍にはどうもいかないところではありますけれども、日々勉強しながら皆さんの声を聞きながら頑張っていきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

加田参事 4月1日より教育総務課参事を拝命いたしました加田と申します。よろしく申し上げます。

木東地主任主事 4月の人事異動で参りました木東地と申します。初めての教育委員会で不慣れなことがたくさんあります。この1か月は早く過ぎていき、もう少ししたら5月を迎えるのでびっくりしております。皆様、不慣れな点もありご迷惑をおかけすると思っておりますが、どうぞよろしく願いいたします。

領家教育長 小林匹見分室長は本日欠席です。ありがとうございました。また各課においても異動がございましたので、併せてご紹介いたします。教育総務課に宅野会計処理室長、それから学校教育課に河合課長補佐、ひとづくり推進課に澄川課長補佐、山崎課長補佐兼国民スポーツ大会・全国身障者スポーツ大会準備室長が4月1日付から着任しております。今年はこのメンバーで教育委員会を運営してまいりますので、どうぞよろしく願いいたします。

第1 会議録の承認

領家教育長 これより公開の会議とさせていただきます。

前回定例会の会議録につきましては、委員の皆様には先ほど承認いただきましたので、ご報告させていただきます。

第2 教育長報告

領家教育長

3月28日から本日までの私のスケジュールが書いてありますが、この中から2点ほどご報告をさせていただこうと思います。

まず、4月1日です。辞令交付式が並んでいますが、11時から新任校長辞令交付につきましてお話をさせていただこうと思います。本年度、益田市の小・中学校に新たに着任され新任、昇任として来られたのは、小学校が2名、中学校が1名の校長先生です。3名ともくしくも本市内で教頭職を務めておられて、そのまま市内で昇任をされた方でございます。この方に、それぞれ初めて校長になって初日どうだったかというようなお話、感想、それから今年ぜひ一年間かけてやりたいことってどんなことだろうというお話を伺いました。1日たってどうだったというのは、やはり教頭と校長では職が変わっただけで、職員の扱い方が何か変わることを感じると3人異口同音に話していました。つまりそれだけ責任が重くなり、ドキドキして対応していますというような話をしていました。

私からは3つほどお願いしました。まず1つは、先般の校長会議でも話しましたが、「あなたのいいところとは何ですか」と3人それぞれに聞いて、そのよさをぜひ学校運営で生かしてください、それは職員のよさを見つけることに必ずつながりますし、そのよさを見つけて生き生きと働かせてもらう職員は幸せだから、自分のよさをまず引き出して、それを全てみんなのよさにつなげてほしいと話しました。

2つ目、先ほどの、何か立場が変わればみんなの扱いが変わるのではないですけど、校長になるとどうしても最後には判断をしないといけないことがある。それを自分よがりにならず、自分が判断をしなくてはいけません。自分一人だけするのではなく、様々な情報を仕入れること、人から意見を聞くこと、あるいは職員からも声を聞くこと、そんなことを大事にしてくださいと伝えました。自分は全てに完璧な人ではないから、専門家やその道に詳しい人のサジェスションを受けて、決めるのはあなただから、そうした判断の仕方をする

といいのではないか、自分もそうやってきたよという経験談をしました。

3つ目は、ムードづくりです。トップのムードで学校は大きく違います。それからどうしても新任の校長先生は小さい集団の中でスタートしますから、なおのことムードづくりがすごく大事だから、あなたのよさを生かすことがそのムードづくりにきつとつながります。自分のいいところとは何かってよく振り返りながらやってほしいし、そのムードづくりは人の感じる心につながると思うので、そんなことを大事にしながら少し世の中の流れが感じられるようになるのには1か月も2か月もかかるかもしれないけれど、ぜひそんな感じる心を大事にしながらムードづくりをしてほしいとお話をさせていただきました。これが1点目でございます。

それから、2点目は、4月15日に剣道全国大会出場者表敬訪問が市長にありましたので、同席しました。その報告をさせていただきます。

剣道の全国大会は、4月29日に和歌山県で開催される都道府県対抗剣道大会です。この都道府県の対抗大会は剣道界独自のルールですが、1チーム7名の選手が出場します。その選手を、高校生、大学生、教職員、警察官、それから一般の方の年齢で35歳未満、35歳以上、50歳以上という7名構成だそうです。

益田市代表になったのは高校生で益田東高校3年生の斉藤誉螺選手です。この方は、令和6年度島根県高校剣道新人戦大会個人の部で島根県チャンピオンになったことから、島根県代表のチームに加わって全国大会に出場するということでした。本人に聞いたら、彼のお兄さんが剣道をやっていたのがきっかけで、小学校1年生から剣道教室に通い出して9年間続けてきて今のようになっているともお話しされました。益田からそうした代表者が出ていくことをみんなで激励し、29日ですから明日全国大会ですので、こんな選手が益田から選抜されていることも併せてご承知おきいただきたいと思い今日紹介をさせていただきました。

委員の皆さんにおかれましては、詳しくお聞きになりたい点とかがありましたら併せてお話ししますが、よろしいでしょうか。

教育委員
領家教育長

=全員了承=

それでは続きまして、4月にいただきました寄附、寄贈につ

いて紹介をさせていただきます。

この間は6件ございました。梅寿会様からは、以前も頂きました、小・中学校施設整備基金について現金の寄贈がございました。それ以外の5件につきましては、小学校1年生の入学に関してのものでございます。大畑グループ交通安全協議会からは交通安全標識の定規、それからエフエム山陰様からは防犯ブザー、益田あけぼのライオンズクラブ様からはランドセルカバー、益田市交通安全対策協議会様からは交通安全自由帳、そして益田地区安全運転管理者協会様からは反射材つきの手提げ袋と、5点ほど頂きました。それぞれのところで頂くなど、贈呈式等ありましたけれど、私がお話ししたのは、1年生とはいえども自分の身は必ず自分で守ると指導を学校でします。自分の身を守るためにこの頂いたものがどのような役割をしているのかも含めて学校長あるいは担任のほうからお話をさせていただきますので、多くの方に見守られるとともに、こうして頂いたものが子どもたちの身を守る、自分の身は自分で守るのにつながるためお礼を申し上げたところでございます。私からは以上でございます。

第3 議題

議第12号

益田市教育委員会障がい者活躍推進計画（第3期）の策定について

領家教育長

それでは、これから議事日程第3議題に移らせていただきます。

本日の会議ですが、既に1件、報告案件については非公開形式で行われましたので、残る議事案件が4件、報告案件が1件となります。

それでは、議第12号益田市教育委員会障がい者活躍推進計画（第3期）の策定について事務局より説明を求めます。

齋藤課長

それでは、益田市教育委員会障がい者活躍推進計画（第3期）の策定に関しまして資料に基づきご説明をさせていただきます。

まず、策定の背景ですが、これまでも1期、2期と続いて今回3期を策定していく流れです。令和元年に障害者の雇用の促進等に関する法律が改正されまして、同法第7条の3第1項の規定に基づき地方公共団体において障害者である職員の職業生活における活躍の推進に関する内容を盛り込んだ計画

を策定しなければならないという条項がございます。

これに基づきまして、令和2年3月に「益田市教育委員会障がい者活躍推進計画」の第2期を策定し、障害者雇用の促進と施設改修等の職場環境の整備に取り組んでまいりました。このたび第2期の計画期間が昨年度で満了したので、改めて3期の計画策定が必要になったという背景があります。

計画についての案は、この後段のところで資料に出しております。簡単に計画期間とその内容につきまして触れてまいりたいと思います。

まず、計画期間です。計画の内容のところでございますと1ページ目の基本事項の(2)計画の期間を見ていただきたいと思います。計画期間は、令和7年度から令和11年までの5年間を計画期間といたします。計画期間においても随時取り組み状況の把握をしながら検証を行って、必要に応じて適時計画の見直しを図ってまいりたいと考えています。

続いて、主な内容です。これにつきましては、次のページになります。課題と目標です。その中の2番教育委員会が目指す目標です。これまでも、1期、2期と法定雇用率が国で定められております。毎年6月1日時点の法定雇用率を労働局に報告しますが、この時点の法定雇用率が2.92%ございました。現在、令和6年4月以降2.8%が法定雇用率となっております。段階的に令和8年7月以降3.0%に上がる状況になっております。この法定雇用率を、毎年6月1日時点で実雇用率として超えていきたいと考え採用に関する目標として掲げております。

今回、皆様方にお話をしておかないといけないと思っておりますが、4月から新しい体制をしく中で、会計年度任用職員に関しても雇用率の算出の中に入っております。そういった中では、公民館、教育総務課にも会計処理室に益田養護学校の高等部を卒業した方を育児休暇の代替という形で今回雇用をしております。この方も障害を持ちながらも現在会計処理室の業務に従事をしていただいている状況です。こういった障害の方々も活躍できる場を提供できるような形を含めまして、採用等を目標に計画の中に盛り込んでいくところです。

また、定着に関する目標として、離職にならない支援、職員もですが、協力をしながら進めてまいりたいと思っております。こちらについても目標として定めている状況でございます。

さらには、次のページになりますけど、体制整備、また職場

環境の整備、そして職員の採用・育成等の観点、津々浦々と項目立てをしております。相談できる体制等につきましては、相談のできる障害者職業生活相談員の資格、実は私も持っていて、講習を受けて免状としていただきました。一人でも多くを受講させるように努めまして、相談できる環境をつくっていきたいと考えているところです。そういった障害者の活躍を推進する取り組みにつきましても、この計画の中に盛り込みまして、5年間で進めてまいりたい状況でございます。説明については以上になります。計画の策定につきまして承認いただきますようによろしく申し上げます。

領家教育長 　　ただいま説明した件についてご質問等ありましたら伺います。いかがでしょうか。

齋藤委員 　　この定例教育委員会の後に教育長の決裁を取ってという流れになるのでしょうか。

領家教育長 　　そうです。ここで議決をいただきましたら、基本的にはこの内容に対しての案を策定していきたいと考えています。

齋藤委員 　　細かいことですみません。策定の背景の中に、漢字の「障害者」と平仮名の「障がい者」の2つありますが、今は「害」の漢字は使わないことが一般的になっているので、平仮名に統一する必要があるのではないのでしょうか。

領家教育長 　　障害者の雇用の促進等に関する法律には、法律名に漢字の「障害者」と書いてあります。

齋藤課長 　　例えば「害」を平仮名に直せるものにつきましては、計画の中でも表題も全部平仮名にしています。ただ、教育長が述べたように法律名なので、それを平仮名にすることができませんでした。

齋藤委員 　　それは私が勘違いをしていました。それでは、かぎ括弧で囲ったらどうですか。

齋藤課長 　　そうですね。配慮できることは対応できればと思います。

領家教育長 　　そのほかいかがでしょうか。

原田委員 　　2番の障がい者雇用における課題と目指す目標のページの1番の「障がいを持つ職員及び雇用した」とありますが、「障がいを持つ」という表現ではなく、「障がいがある」という表現の方がよいのではないのでしょうか。

齋藤課長 　　ありがとうございます。分かりました。内容につきましては、ご指摘いただいた内容のところを含めて調整をしてまいります。

領家教育長
教育委員
領家教育長

ありがとうございます。そのほかよろしいでしょうか。

=全員了承=

それでは、採決に移らせていただきます。

本件につきまして賛成の方、挙手をお願いいたします。

教育委員

=挙手全員=

領家教育長

ありがとうございます。賛成者多数のため、本件は承認されました。では、事務局は必要な手続を進めてください。

議第13号 「益田市教育ビジョン」の見直しについて

領家教育長

続きまして、議第13号「益田市教育ビジョン」の見直しについて事務局より説明をお願いします。

齋藤課長

それでは続きまして、「益田市教育ビジョン」の見直しについて資料に基づきご説明をさせていただきたいと思えます。

今年度に入りまして、市長の施政方針の中にも益田市の教育に関する大綱、そして益田市教育ビジョンの見直しを盛り込みまして今年度進めてまいりたいと思えます。

特に教育委員会といたしましては、益田市教育ビジョンの見直しという大きい方向性があります。平成26年2月に策定をして、10年間の計画期間でした。背景として島根県の教育振興ビジョンの策定、そして総合振興計画自体の見直しを持ちつつ、これらを踏まえた改定をすることを理由に、教育委員会のほうにも2年の延長をし、本日に至っている状況です。

概略を1番のところで、益田市教育ビジョンに関して説明しております。基本的に、教育ビジョンにつきましては、後で資料も載せておりますけれども、基本目標に目指す子ども像を掲げまして、それを実現するための重点項目、実現のために求められる教育としての6本の柱を示した中で、活動目標を掲げまして、益田市の総合振興計画との整合性を図りながら長期的視点に立った到達目標を示し、全庁的な課題として今日まで取り組んできたものでございます。

内容につきましては、後段に資料をつけておりますので、ご覧いただければと思えますが、いずれにしても今日まで12年間、益田市教育ビジョンに基づきまして取り組んできた現状があるというところでございます。

2番目のところの益田市市教育ビジョンの改定に向けてで

す。この教育ビジョンの内容に関しましては、捉え方だと思いますけども、大きくは学校教育に視点を置いた目標を盛り込んだものが今後市の教育ビジョンの形になっていくと考えます。

他市の教育ビジョンを確認いたしますと、単純に学校教育のみならず、社会教育、そして文化やスポーツにも触れながらビジョンとして策定されているものが見受けられると思っています。実際に教育ビジョンの策定と同時期になりますけれども、平成26年2月に益田市の社会教育推進計画自体も策定をしております。当該計画自体も教育ビジョンと同様に令和7年度末まで計画期間を延長し、今日まで取り組んできている状況がもう一方であるところがございます。

これらを踏まえまして、同じく今年度に総合教育会議において、益田市の教育に関する大綱を見直すことがありますので、これに注視をしながら、学校教育、社会教育、スポーツ・文化・芸術活動などの教育全般に係る指標を盛り込んだ教育ビジョン策定を見据えていく必要性があると考えております。これらを考えながら教育ビジョンを進めてまいりたいという気持ちの中でスケジュール（案）についてです。

教育ビジョン策定につきましては、大きいところでは国の第4期教育振興基本計画、そして3月に策定をされました島根県教育振興ビジョン、これを参酌しながら益田市の教育に関する大綱そして益田市総合振興計画との整合性を図る必要があるというところです。

今年度1年間をかけまして策定をしていく中で、5月には有識者等で構成いたします教育審議会を立ち上げ、これまでの教育ビジョンに係る6つの重点項目に対する評価と、教育ビジョン策定に向けた今後の考え方を諮問する予定です。子どもの実態調査などを踏まえまして答申をいただき、教育ビジョン策定を進めてまいりたいと思います。おおむねのスケジュールについては、5月、6月、9月、10月と4回にわたって教育審議会を開催していく予定としております。12月には、教育審議会から諮問事項に対する答申をいただき、見直し案の作成に入ります。1月、2月にパブリックコメント、そして3月には仮称になりますけれども教育ビジョンの策定という流れで進めてまいりたいところがございます。

もう一点、4点目になります教育審議会です。先ほども言いました有識者で構成していきたいと思います。現時点で1

2名から14名、学識経験者、また保護者、学校代表、そして各関連機関からの代表者、そして公募委員を2名含めまして、12から14名で構成する委員で審議会を5月のタイミングでは立ち上げてまいりたいと考えております。

それぞれ、先ほど言いましたように、広く学校教育、社会教育、スポーツ・文化・芸術活動という全般に係るものでございますので、関連する方々での構成という内訳で考えている状況です。

本日、この審議会の委員について、まだ委員の調整が整っておりませんので報告できませんが、確定しましたら皆さんにもご報告をさせていただければと思っております。このような形の中でビジョンの見直しを進めてまいりたいと思っておりますので、ご理解のほどをいただき、ご可決のほうをいただければと思っております。よろしく願いいたします。以上です。

領家教育長

ただいまご説明しました件につきましてご質問等があればお願いいたします。いかがでしょうか。

齋藤委員

社会教育推進計画も見直しをするわけですね。社会教育審議会ですとまとめるのでしょうか。それとも、何か別に立ち上げるのですか。

齋藤課長

先ほど言いましたように、ほかの市町村においては、益田市の社会教育推進計画の内容を教育ビジョンの中に全部包含をして整理しているところが多いです。前回、平成26年のときになぜか教育ビジョンと社会教育推進計画を別に計画立てをしている状況がありました。今回につきましてはそれらも全部含めた教育ビジョンという形で、1つに統一していきたいという考えでございます。

岡崎課長

現行の計画の進捗管理については、社会教育委員に毎年度進捗管理を報告し、ご意見をいただいておりますので、毎年アップグレードしたもので対応しています。そういった形で今後の進捗管理についても同様な形で社会教育委員に伺っていただく方法で対応していくものと考えていくと思っております。

齋藤委員

社会教育推進計画はそのまま手直しをして、残していくということでしょうか。

岡崎課長

社会教育推進計画が新しい教育ビジョンに包含されますのでなくす方針です。

齋藤委員

今まで文化・スポーツについてそういう形でまとめたものがほとんどないと思っておりますが、どういう形で包含していくのでしょうか。

齋藤課長

文化・スポーツも基本的には教育ビジョンをつくるに当たっては、他市にも様々な文化的な部分に対しての目標、指標があったり、またスポーツとはいえ、例えば体力的なもの、そういったものにかけた目標を定める他市の教育ビジョンのようなものはあります。そういったところを教育審議会の中でも議論をしていただいて、答申の中に盛り込んで、それを基に見直し案として整理をしていきたいという考えでございます。

齋藤委員

そうですか。分かりました。

領家教育長

それでは、採決に移らせていただきます。

本件につきまして賛成の方、挙手をお願いいたします。

教育委員

=挙手全員=

領家教育長

ありがとうございます。賛成者多数のため、本件は承認されました。では、事務局は必要な手続を進めてください。

議第14号 益田市教育支援委員会の委員の任命について

領家教育長

続きまして、議第14号益田市教育支援委員会の委員の任命について事務局より説明をお願いします。

田原課長

それでは、私から説明させていただきます。

益田市教育支援委員会の委員名簿を掲出させていただきます。現在の教育支援委員会の任期につきましては、令和6年5月1日から2年間で、令和8年4月30日までになっています。この4月1日の人事異動によりまして5名の委員が退任をされましたので、その補欠委員として新たに5名の委員を任命するものでございます。それぞれのお名前等につきましては、資料からお読み取りいただければと思っております。以上でございます。

領家教育長

ありがとうございました。ただいま説明した件につきましてご質問等があればお願いいたします。いかがでしょうか。

それでは、採決に移らせていただきます。

本件につきまして賛成の方、挙手をお願いいたします。

教育委員

=挙手全員=

領家教育長

ありがとうございます。賛成者多数のため、本件は承認されました。では、事務局は必要な手続を進めてください。

議第15号 史跡益田氏城館遺跡群整備検討委員会委員の委嘱について

領家教育長

続きまして、議第15号史跡益田氏城館遺跡群整備検討委員会委員の委嘱について事務局より説明をお願いします。

田中課長

私のほうからは、史跡益田氏城館遺跡群整備検討委員会委員の委嘱についてご説明をさせていただきます。

前回まで委員は6名おられましたけども、2名の方が今回退任をされました。再任の方が4名で、新任が1名になっております。退任された方が、考古学、それから益田市の文化財保護審議会から1名ずつ出ておられましたが、今回会下和宏さん、島根大学総合博物館の館長でありますけども、どちらにも精通されているため、新任ということで加わっていただいております。つきましては、5名の方が新たにこの体制で委員会を構成していくことにしております。

領家教育長

ありがとうございます。これまで委員だったのが6名で、2名担任されて、重なった専門分野があるから1名が新たに推薦されたという解釈でいいですね。それでは、ただいま説明した件につきまして、ご質問等あればお願いいたします。

それでは、採決に移らせていただきます。

本件につきまして賛成の方、挙手をお願いいたします。

教育委員

＝挙手全員＝

領家教育長

ありがとうございます。賛成者多数のため、本件は承認されました。では、事務局は必要な手続を進めてください。

報第13号 「春休み！算数・数学パワーアップ教室」について

領家教育長

続きまして、報第13号「春休み！算数・数学パワーアップ教室」について事務局より説明をお願いします。

杉原参事

春休みに行いました算数・数学パワーアップ教室について報告させていただきます。実施の期日は3月25日から27日の3日間、市民学習センター多目的ホールを中心に開催をいたしました。参加者ですが、講師になります島根大学の学生と松江工業高等専門学校の学生が今回最多の参加で28名おられました。そのうち16名がリピーターでした。

それから、小・中学校の参加についても、小学生については春休み開催では過去最多の72名の応募がございました。中学生は、春休みは中学3年生が卒業する関係で、若干毎回少なくなりますが、今回中学生が18名の参加になっております。

アンケートの肯定的評価については、以下のとおりになっ

ており、おおむね90%を超える高評価を得ております。

2枚目に、学生に益田市の子どもたちのよかった点、気になった点を書いていただきました。その中に気になる点がありました。意欲面のところで、意欲のある子供が多いと10名回答してくださっておりますが、反面、勉強に集中できずほかのことをしてしまう子がいたが7名いたということで、今後この意見を参考にさせてもらい、特に小学校の個別学習の時間をグループ分けしたりして、メニューを考えて意欲が続くような形で取り組みたいと考えております。これはまた学生のアイデアを生かしていきたいと思っております。以上です。

領家教育長

それでは、ただいま説明した件につきまして、ご質問等あればお願いいたします。

教育委員

=全員了承=

領家教育長

それでは本日予定しておりました議事全てが終了いたしました。これをもちまして第941回益田市教育委員会定例会を終了させていただきます。本日はありがとうございました。

=終了時間 16時30分=